

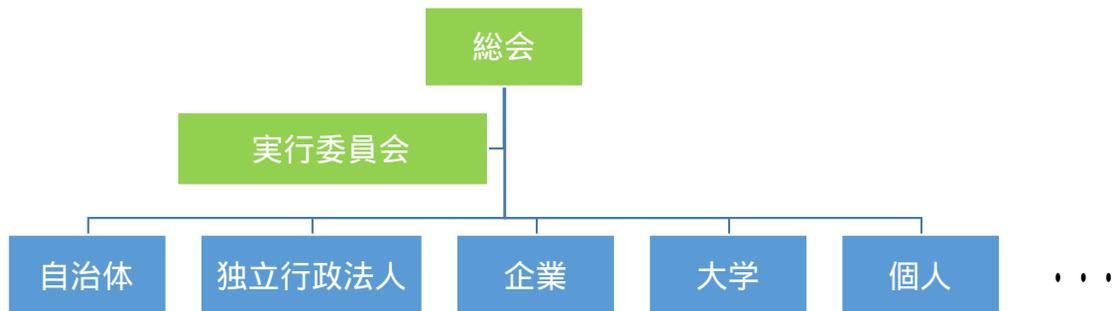
科学技術イノベーション・マッチング・フォーラム (サイエンスIMF)

1.. 科学技術イノベーション・マッチング・フォーラムとは？

- 産学間や産産間のオープン・イノベーションを活性化し、いち早く最先端の技術成果を社会に確実に届けていくために、技術シーズと適切なニーズのマッチングを図る環境整備が、従来にも増して重要となっています。
- このため、関係省庁や産業界等による各種マッチング事業の横断的な連携や交流を自立的、活発に行うためのコミュニティの形成や、各種活動の可視化等を提唱することを目指してフォーラムを立ち上げることとします。

2.. 組織形態について

- フォーラムの趣旨に賛同し、その目的達成のための情報を共有するイノベーション・マッチング活動に意欲のある企業、行政、団体、個人の会員により構成されます。
- フォーラムの活動内容について審議決定するため実行委員会を設置します。
- 会員が知識・人材の交流を深め解決策を見出す場として、総会を年に1回開催します。
- なお、フォーラム立上げ後一定期間は、内閣府政策統括官（科学技術・イノベーション担当）の施策の一部として国が事務局を担いますが、その後は会員によって自立的に運営していただけるよう、財団法人化も含めて、運営方法について検討する予定です。

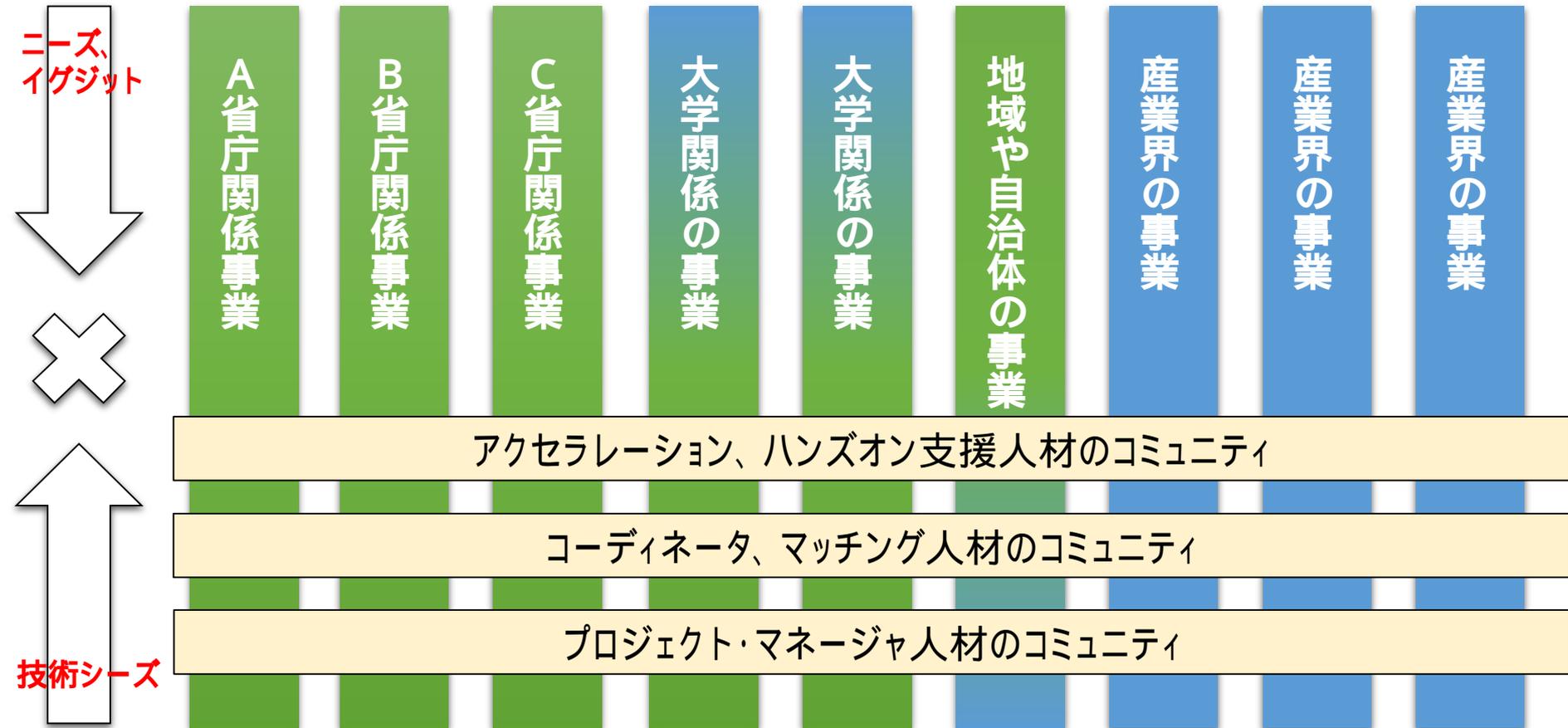


3.. 具体的な活動内容（案）

- マッチング活動を行う組織・人材間のネットワーキングの場作り
- 情報やノウハウの共有、事業横断的なシーズの橋渡しを含む様々な連携の可能性を醸成する環境作り
- 主要なマッチング事業の特色の可視化・俯瞰化（得意な技術領域や利用者、支援が得られるメンタリング内容の明確化等）
- マッチング促進に向けた政策提言 等

事業横断的・組織横断的な連携を推進するコミュニティの形成

産官の各種マッチング事業に携わる各種人材が、組織を超えて自律的にネットワーキング・交流できる環境作りを図ることにより、技術シーズの橋渡しやノウハウの共有等を含む様々な連携の可能性を創造



「結局は人のつながり」

優秀なプロジェクト・マネージャ（PM）等による人的なつながりが、フレキシブルで事業横断的・業際的な発想やコラボレーションを創造する

